

令和6年5月8日



教育目標：よりよい未来を創り出そうとする児童の育成
～なりたい自分・仲間・学校になるためにチャレンジ～

東陵小だより

発行者 校長

授業参観・育友会総会・学級懇談会

ご参加ありがとうございました

4月30日は、今年度1回目の授業参観でした。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、感謝しております。新しい学年、新しい担任とともに張り切って授業に取り組んでいる様子を見ていただけたのではないかと考えております。また、その後の育友会総会は、昨年度に引き続き体育館に参集して行いました。こちらもたくさんの保護者の方々にご参加いただき、無事議案の審議を進めることができました。事前の準備や当日の運営等にご尽力いただいた育友会役員の皆様、ありがとうございました。学級懇談会では、担任と保護者の皆様の初顔合わせができました。長時間、ご参加くださりまして、ありがとうございました。





R6年度の教育目標と重点的な取組です。

教育目標

よりよい未来を創り出そうとする児童の育成

なりたい自分・仲間・学校に成るためにチャレンジ

めざす学校像

- 子どもたちが学校生活を楽しいと感じ、ともに育ち合える学校
- 常に子どもファーストで考え、教職員が協働して子どもの成長を支える学校
- 家庭や地域の信頼に応える学校

めざす児童像

- なりたい姿に向かってチャレンジできる子
- 自分や友達のがんばりや成長を見つけたら、応援したりできる子
- 自分で考えてすすんで行動(学習)できる子
- 他者と話し合い、問題を解決したり、新しい考えを生み出したりできる子

めざす教師像

- 失敗や違いを宝物とし、子ども一人一人のがんばりや成長を適切に見取り、価値づけられる教師
- 愛情のある指導ができる教師
- 授業で子どもの力を高められる教師
- 子どもを信じて、待てる、任せられる教師

今年度の重点(取組等)

確かな学力の育成

- 各教科における「資質・能力」と学習の基盤となる「資質・能力」の育成
1. 学びや成長を実感できる授業の実現
 - ・カリキュラムマネジメントの充実(重点単元の設定、有機的な教科のつながりの見える化)
 - ・学校研究、若プロ研修を通しての授業の質的改善(東陵スタイルの推進)
 2. 学習内容の習熟、基礎基本の定着
 - ・組織的な推進(ロードマップ)
 - ・共通システムの構築・推進(帯タイム、朝タイム、家庭学習等)
 - ・**読書活動の充実**
 3. GIGA スクール構想の推進
 - ・学習用端末を活用した効果的な授業の推進
 4. 総合的な学習の時間の充実
 - ・SDGs教育、キャリア教育の推進
 - ・児童の「～したい」を大切に探究活動の設定

豊かな人間性・社会性の育成

- 自ら考えよりよく判断し行動する力、互いに助け合い協力しようとする力の育成
1. いじめ・不登校への組織的対応
 - ・定期的な調査、きめ細かな見取り、家庭との密な連携、全校での情報共有
 - ・遅刻・欠席児童や問題への組織的対応
 - ・キラリタイム等「楽しい交流」の場の設定
 2. 自己肯定感を高める取組の充実
 - ・「なりたい自分」に向けてチャレンジし達成感を感じる場の設定
 - ・成長やよさを見つけ、自己有用感を感じる場の設定(輝く場の設定)
 3. 自治的な集団づくりの推進
 - ・生徒指導の4視点を生かした学級づくり
 - ・学級の課題(成長の種)を成長に変えていく学級会システムの構築と推進
 - ・「学校会議」のシステムの構築と推進

共通実践
みんなでやる
そろえてやる

健やかな身体の育成

- 健康、体力向上、安全を考え、適切に対応できる心とたくましい身体の育成
1. 基本的な生活習慣の確立
 - ・家庭との連携、発信(メディア利用の約束、ノーメディアデーの設定等)
 - ・学級活動による指導の推進
 2. 体力・運動能力の向上
 - ・達成感のある体育科の授業の充実
 - ・一校一プランの共通実践による課題の克服
 3. 命を守る取組の推進
 - ・病気やけがを予防する**自己管理能力の育成、感染予防の取組と啓発**
 - ・アレルギー等への組織的対応
 - ・避難訓練等による危機対応の推進
 - ・職員研修による共通理解

働き方改革

- ・校務の効率化(校務支援システムの有効活用)
- ・行事、日課表、カリキュラムの見直し
- ・分業による校務の分担、平準化
- ・**チームを活かす授業の工夫**
- ・給食時間の有効活用

家庭・地域との連携

防犯・安全対策・挨拶運動・基本的な生活習慣と家庭学習の定着・授業参観(学校公開)
メディア対策・情報発信(ホームページ、各種たより等)・学校評価・保小連携・小中連携

「夏休みのプール開放」中止について

これまで、夏休みのプール開放の際には、プールの行き帰りに熱中症になるリスクも考慮し、暑さ指数や熱中症警戒アラートを基準に開放の有無を判断してきました。昨年は、猛暑が続き、開放することができませんでした。今年の気象状況は、まだわかりませんが、児童の健康と安全を最優先し、夏休みのプール開放を中止することといたします。保護者の方によるプール監視体制の計画も鑑み、早い時期ではありますが、お知らせいたします。楽しみにして下さっていた皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、保護者および教職員対象の「救急救命法講習」は、例年通り実施を予定しております。日程が決まり次第、ご案内いたします。